

コミュニティ・スクールは、一人一人の子どもが幸せな人生を歩んでいけるよう社会総がかりで子どもたちを育む取り組みです。



宝CS通信

No.2



令和7年9月吉日

都留市立宝小学校

校長 土屋 百合香

～宝小コミュニティ・スクール(CS)、夏の活動報告～

7/22(火) 令和7年度 第2回 学校運営協議会 開催！

令和7年7月22日15時より、委員13名、教職員9名が集まり、第2回学校運営協議会を行いました。熟議では、第1回の「こんなことできる、やってみたい」の意見交換に引き続き、「教職員が取り組みたい活動の発表とその相談会」が行われました！グループ移動式熟議で、盛んに情報交換がなされました！

先生の願い「こんな地域人財、いらっしゃいませんか？」

- 1年 秋とともに学習で、遊びを創り出すために木の実・葉集め 採集の場所等
- 2年 朝や休み時間の見守り 子どもたちの良き話し相手、相談相手になってほしい
- 3年 (社会) 昔の道具 学び・遊び 持っている方や使い方をご存じの方
- 4年 (社会) 防災 宝で活動している方
(社会) 都留市における国際交流活動や外国との交流に携わっている方
- 5年 (社会・総合) 米作り、餅つき 都留の伝統文化 ご協力してくださる方
- 6年 子どもたちに身に付けさせたい力 地域保護者の協力

図書 読み聞かせをしてくださる方 (朝の10分間 読書の時間)

各グループで出たアイディアを基に、今後の計画として、今年度実現可能なものを優先的に取り組む方針が確認され、実現が難しい場合は、来年度に向けて進めることが提案されました。先生と地域の方々が無理なく協力して進める形で取り組んでいきます。こうして、地域が学校の企画を支援することで、教育活動の実現を目指すことが期待され、地域と学校の連携がさらに強化されていきます！

振り返り

教員

- 宝地区について知らない部分がたくさんある中で、委員の皆さんからたくさん情報を頂いたり、協力してくださる方がたくさんいたりしてすごく勉強になりました。また、協力的な保護者の皆様や地域の方々がいるからこそ、学校がより良くなるのだと実感しました。
- 保護者の方と学校運営協議会という場で話ができるよかったです。個別懇談や普段の連絡とは違い、学校をどう良くしていくかについて同じ目線で話をしていただけたのがとても心強く感じました。
- 地域の方とお話しできたことが一番よかったです。保護者の方の地域での役割や仕事について知ることができまする機会となりました。
- 宝地区の伝統が知れたり、行事への取り組みが盛んな地域だとわかったりしました。また、初任者に対しても協力的に情報提供してくださってとても心強かったです。
- 担任の先生方が加わることで、より具体的な動きが見えてきた。先生たちが、子どもだけでなく、保護者、家庭の事まで真剣に考えていることに、敬意を表します。その一生懸命さは、きっと子どもや保護者に伝わります。

地域



裏面もご覧ください

学校運営協議会 会長 佐藤馨より メッセージ



宝小学校
学校運営協議会
会長 佐藤馨

本校がコミュニティ・スクールとして地域とともに歩み始めてから、二年目を迎えるました。これまで、皆様の温かいご支援とご協力により、子どもたちの健やかな成長を支える環境が着実に築かれつつあることに、心より感謝申し上げます。コミュニティ・スクールの最大の魅力は、「地域（家庭）と学校が一体となって子どもたちを育む」ことにあります。地域の知恵や経験を生かした学びの場、世代を超えた交流、そして子どもたちが自ら地域に関わる機会など、学校だけでは得られない貴重な体験がここにはあります。今後も、地域の皆様とともに「開かれた学校づくり」を進め、子どもたちが安心して学び、夢を育むことができる環境づくりに努めてまいります。

～宝小学校 校長が思う、地域、子ども、コミュニティ・スクール～



宝小学校 校長
土屋 百合香

1

◆ 「コミュニティ・スクール宝小学校」の今

地域の方々が子どもたちを本当に大切に思ってくださっています。「子どもたちのために」という土台が、この地域にはできていて、「みんなで育てたい」という思いが、行動になって伝わってきます。学校運営協議会を通して、子どもたちも、常日頃子どもたちに接している教職員も、みんなで地域との関わり合いをもっと持っていきたいです。



2

◆ 子どもたちに期待すること

宝地域の豊かな自然の中で、もっと学んでいってほしいと思っています。子どもたちは、たくさんの可能性とエネルギーを持っていて、それを、より良く發揮していってほしいと思っています。それには、いろんな人と関わって、話をして、いろんな経験をして、いろんなものが培われていく、そういうことがすごく大事だと思うんです。そして、そうした経験が大人になって発揮されるには、心の安定も必要です。子どもたちは、地域の方が声をかけてくれるだけで、私って幸せだなって思えます。そして、身も心もたくましく育っていってほしいです。そして、山梨県のために、都留のために、ぜひ地元でそれを発揮していってほしい。子どもたちがそうして生きていけるようになるには、地域の力が必要です。



3

◆ 私にとっての、「地域」という存在

田んぼ、畑、自然に囲まれて育ちました。川で魚、ザリガニ取り、登下校では畑を通って、草で遊んだり。それがすごく楽しかった思い出があります。育成会のバレー・ボールチームでは県大会へ行きました。地域の中でいろいろなことを学んで今に生きています。人見知りでしたが、新しい人たちとの出会いはすごく楽しみでした。子どもは外で遊んで、何かをするとおじさんたちに怒られて、それで学んで。日常の中で、身についたり教わったりできる、それが私にとっての地域です。



4

◆ 地域の方々、保護者の方々へメッセージ

同じ目標をもって、みんなで考えたり、話し合ったりしていきたいと思っています。立場の違いなどで、なかなか話す機会が少ないですが、子どもたちを想う思いは、保護者も先生も地域の方々も、みんな同じだと思っています。気になったら話をしてみて、コミュニケーションを取っていきたい。そのための学校運営協議会もあります。そうして、地域と学校で協働して子どもたちを育んでいけるよう、地域の方々に引き続き手をお借りして、宝の良さを子どもたちに伝えていっていただきたいです。

第3回学校運営協議会 開催予定

日時：11月28日（金）16:00～17:30 場所：宝小学校 内容：熟議等

○お問い合わせ先○ 都留市立宝小学校 0554-43-2664 校長 土屋百合香